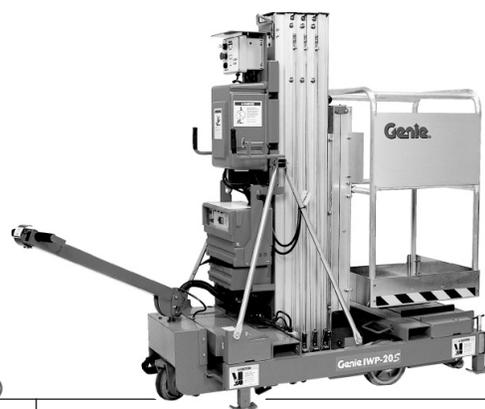


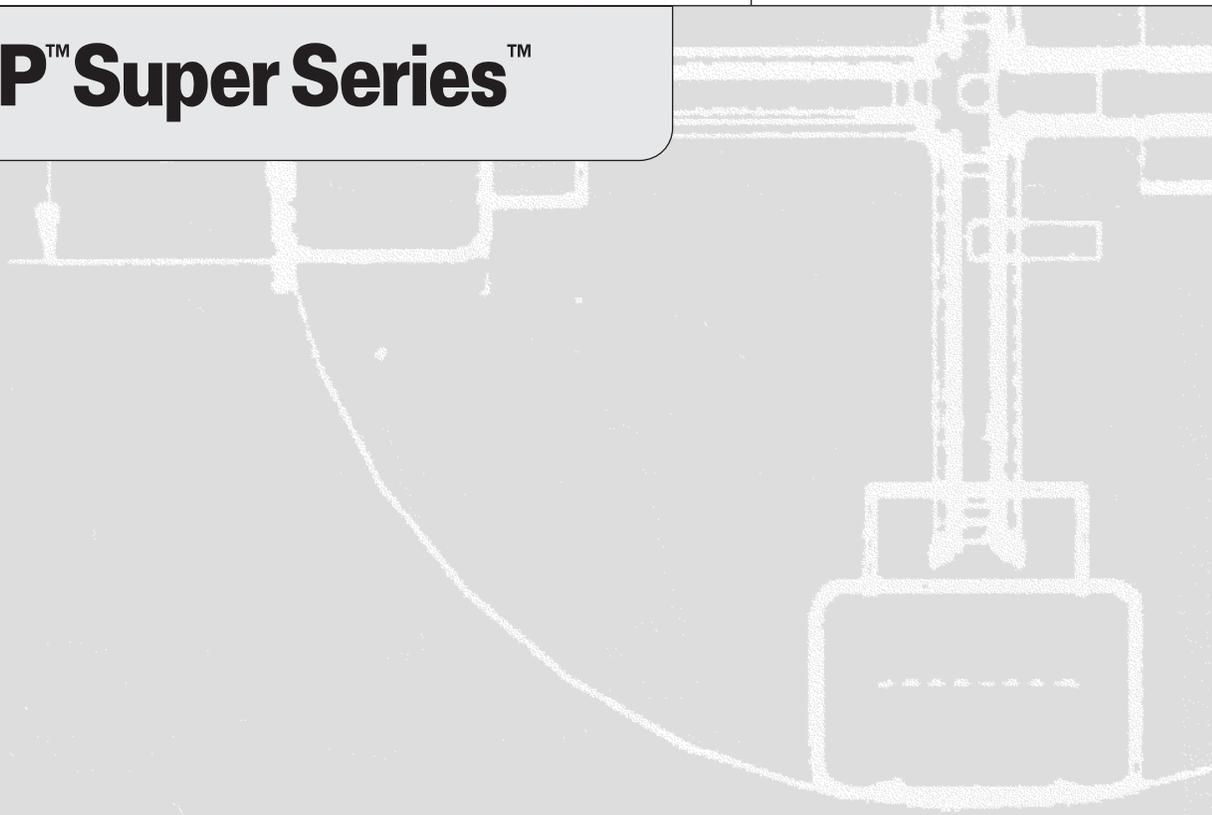
Genie®



操作説明書 メンテナンス情報付属

Third Edition
Third Printing
Part No. 82909JA

IWP™ Super Series™



重要

本機械を操作する前に、操作説明書の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目次

	ページ
安全規則	1
操作	7
説明	8
操作前の点検	9
メンテナンス	11
機能テスト	13
作業場の点検	17
操作手順	18
バッテリーと充電器の操作手順	21
輸送およびリフトの手順	22
ステッカー	24
仕様	28

お問合せ先：

インターネット：<http://www.genielift.com>

電子メール：techpub@genieind.com

Copyright © 1996 Genie Industries

初版： 第5刷 1997年11月

第2版： 第4刷 2002年1月

第3版： 第3刷 2004年10月

「Genie」および「IWP」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。

「Super Series」は Genie Industries の商標です。

 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件：

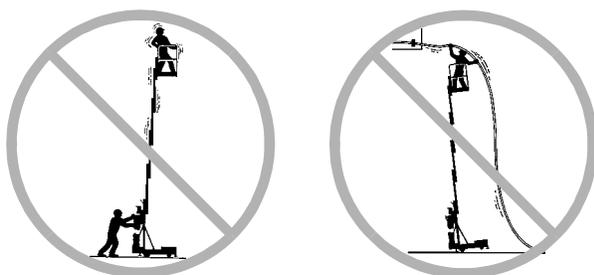
- 使用者が操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
 - 1 危険な状態での使用を避ける。**
 - 次のセクションに進む前に、安全規則を理解し、心得てください。
 - 2 常に操作前の点検を行う。
 - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。
- 製品使用説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。
- 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。
- 適合する全ての法規をよく読み、理解し、それに従う。
- 使用者が安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

転倒の危険

機械がしっかりと平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇しないでください。

作業台が上がっている状態で機械を移動しないでください。



機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている荷やぶら下がっている状態の荷を上下しないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。

作業台にはしごや足場を組まないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。



作業台の外の物体を押ししたり、引っ張ったりしないでください。

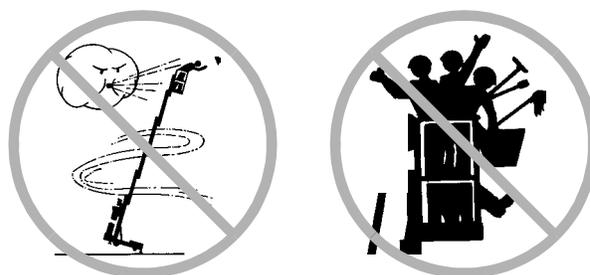
最大外圧力	200 N
--------------	-------

急に低くなっているところ、くぼみ、でこぼこした道、障害物がある場所、不安定な地面、滑りやすい表面、あるいは他の危険な状態の近辺では機械を操作しないでください。

移動中または移動する可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

強風や突風の環境で機械を操作しないでください。作業台や積載床面の表面を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。



作業員、装備、および機材の重量は、作業台の最大積載荷重量を超えてはなりません。

最大積載荷重量 - ANSI, CE	159 kg
最大積載荷重量 - CSA	136 kg
最大積載荷重量 - アウトリーチオプション付きの IWP-20S	136 kg
最大作業員数	1名

機械の安定性に重大にかかわる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

フォークリフトや他の輸送車両を使って機械を移動するときは、作業台を完全に下げ、機械の電源を切り、作業員が作業台を降りてから行ってください。

IWP-25S や IWP-30S には、アウトリーチオプションを取り付けしないでください。アウトリーチオプションは、適切なカウンターウェイト搭載する IWP-20S 専用です。

落下の危険

手摺りは落下防止用です。もし作業台にいる作業員が作業場規約や従業員規約により落下防止装備 (PFPE) を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使い方は PFPE 製品メーカーの指示や適合する法規に従って実施してください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



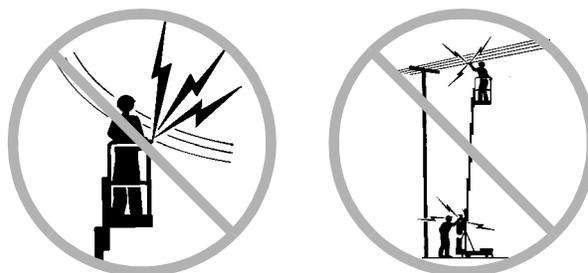
作業台が上昇しているときに作業台から降りないでください。電源障害が起きた場合は、地上の作業員により手動降下バルブを作動してください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げてください。

感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流に接触した場合、あるいは近接する従業員の保護にはなりません。オプションのファイバークラス製の作業台を



搭載していても絶縁されていません。

機械が通电している電線に接触したり、帯電している場合、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで絶対に機械に触れたり操作しないでください。

適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

電圧	安全上の最短距離
範囲	メートル
0~300V	接触を避ける
300V~50KV	3.05
50KV~200KV	4.60
200KV~350KV	6.10
350KV~500KV	7.62
500KV~750KV	10.67
750KV~1000KV	13.72

安全規則

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮し、強風および突風に注意してください。

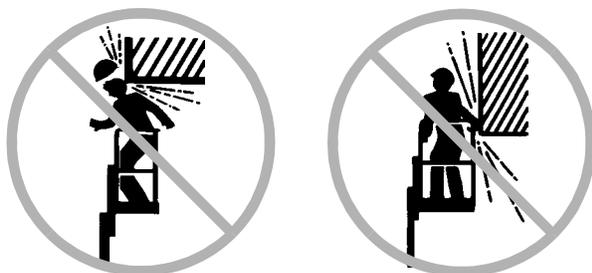
溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

AC 電源使用の機械や DC バッテリー充電器を操作する場合は、接地した AC 回路に接続したアース付 3 ピン延長コードを必ず使用してください。アース付 3 ピンプラグを改造したり、使用不能にしないでください。

衝突の危険

作業員は、安全装備に関して従業員規則、作業現場の規則、および法規に従わなければなりません。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことをチェックしてください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。

傾斜地あるいはその近辺で機械を操作する場合は、常識的な判断と手順をもって行ってください。

下降している作業台には近づかないでください。



故障機械の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

本説明書と Genie IWP Super Series サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、マスト上の保管場所に保管されているようにしてください。

各作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

誤った使用による危険

関係者以外による使用を避けるため、機械から離れる際はキーを取り外してください。

人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に飛び散ったり、やけどを負う原因となります。

アウトリーチオプションの安全性

人体への傷害の危険

固定プレート、ブラケットロック、延長アームなどの動いている部分に手や足を近づけないでください。

パワーホイールアシストオプションの安全性

衝突の危険

地面の状態、まわりの混雑具合、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものによって、走行速度を制限してください。

機械を移動する際は視界の制限されている個所に注意してください。

作業台が上がっている状態で機械を移動しないでください。

傾斜地で機械を移動する場合は、機械の上側から操作してください。

傾斜面に機械を固定する場合は、ブレーキだけに頼らないでください。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および警報言語を使用しています。



安全警報シンボル-作業員にケガの危険があることを示します。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとに示された全ての安全警告に従ってください。



赤-差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。



オレンジ-危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。



安全上の警告シンボルを伴った黄色-危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。



安全上の警告シンボルのない黄色-危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。



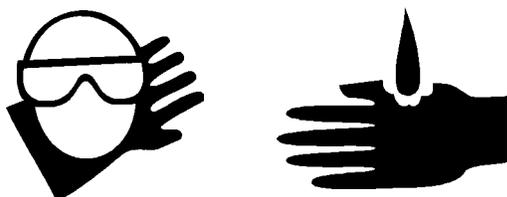
緑-操作情報またはメンテナンス情報を示します。

安全規則

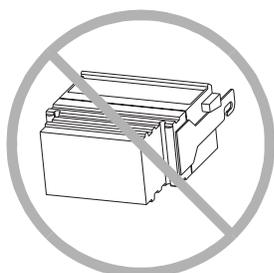
バッテリーと充電器の安全- DCモデル

熱傷の危険

バッテリーには酸が入っています。バッテリーに作業を行うときは、常に保護服と保護メガネを着用してください。



バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないように注意してください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。



バッテリーパックは常に直立した状態に維持してください。

爆発の危険



バッテリーは爆発性ガスを放出します。火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。

バッテリーの充電は、よく換気された場所で行ってください。

充電器がオンのときは、バッテリーから充電器 DC 出力配線を取り外さないでください。

感電の危険

充電器は、接地されている AC 回路にのみ接続してください。



バッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

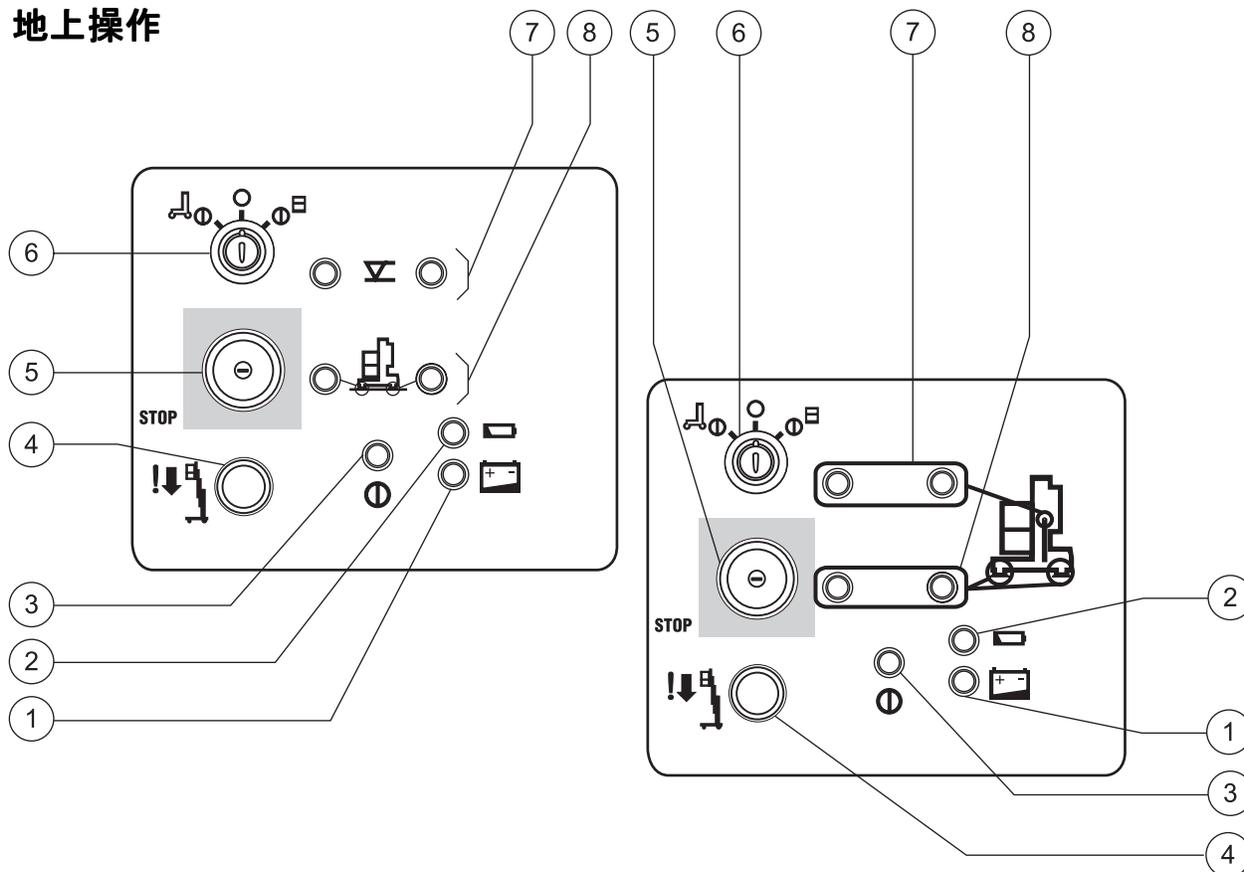
使用する前に破損している箇所がないか点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

リフトの危険

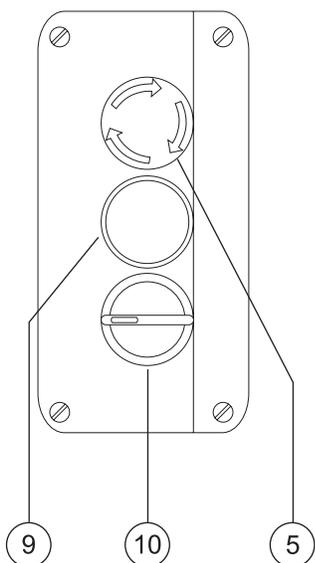
バッテリーパックの重量は 40.8 kg です。適切な人数の作業員と正しい手段で作業を行ってください。

操作

地上操作



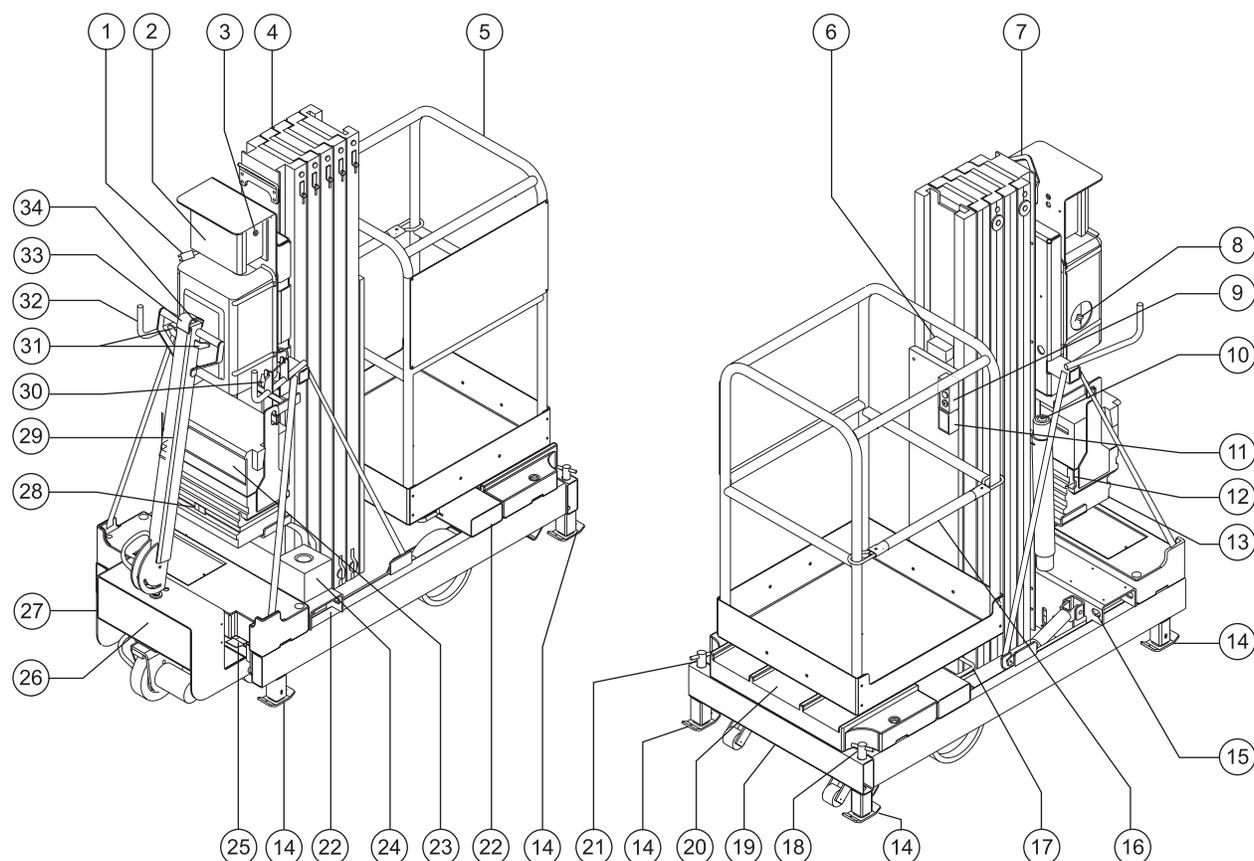
作業台操作



- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 DCモデル：バッテリー低下表示ランプ | 7 レベルセンサーインターロック表示ランプ |
| 2 補助下降用バッテリー低下表示ランプ | 8 フットパッドインターロック表示ランプ |
| 3 電源ランプ | 9 制御作動ボタン |
| 4 補助作業台下降ボタン | 10 上下スイッチ |
| 5 赤色非常停止ボタン | |
| 6 キースイッチ | |

注意：インターロック表示に関する2つのステッカーが追加されました。各ステッカーのシンボルは異なりますが、操作方法は同じです。両方とも上図と本説明書に記載されています。

説明



- | | | |
|-------------------------------------|----------------------|----------------------------------|
| 1 ACモデル：機械のAC電源コード
DCモデル：作業台への電力 | 13 DCモデル：バッテリーパック | 27 手動下降バルブ（油圧シリンダーの底にある） |
| 2 地上操作（インターロック表示） | 14 フットパッド | 28 バッテリストラップ |
| 3 回路ブレーカー | 15 輸送用の荷締め | 29 ステアリングハンドル - パワーホイールアシストオプション |
| 4 マスト | 16 作業台出入口中間レールまたはゲート | 30 ベース下降ハンドル |
| 5 作業台 | 17 フォークリフト用リング | 31 機能作動レバー - パワーホイールアシストオプション |
| 6 操作説明書保管場所 | 18 左側のジャッキ | 32 ステアリングハンドル |
| 7 吊り上げ用アイボルト | 19 ウィンチ個所 | 33 逆進安全スイッチ - パワーホイールアシストオプション |
| 8 ブリーザーキャップ | 20 カウンターウェイト | 34 ロッカースイッチ - パワーホイールアシストオプション |
| 9 作業台操作 | 21 右側のジャッキ | |
| 10 水準器付きレベルセンサー* | 22 フォークリフトポケット | |
| 11 AC コンセント | 23 DCモデル：バッテリー充電器 | |
| 12 DCモデル：バッテリークイック取外し | 24 水準器付きレベルセンサー* | |
| | 25 フットペダル | |
| | 26 パワーホイールアシストオプション | |

*2つの異なる形式のレベルセンサーが搭載されています。

操作前の点検



操作を行う必須条件：

使用者が操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作前の点検と規定のメンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見ても行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、メンテナンスが必要であるかを判断します。オペレータは、本説明書に記載してあるメンテナンス項目のみ行なってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態から何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、マスト上の保管場所に保管されていることを確認します。
- ❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあるかを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ DC モデル：バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていないか、なくなっている部品がないかチェックします。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ユニット、ホース、フィッティング、シリンダー
- ❑ 油圧マニフォールド、フットポンプ
- ❑ 作業台出入口中間レールまたはゲート
- ❑ シークエンスケーブルと滑車
- ❑ リフトチェーンとアイドラーホイール
- ❑ マスト柱とカウンターウェイト
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ ブリーザーキャップ
- ❑ フットパッド
- ❑ 調節可能摩耗板

搭載する場合：パワーホイールアシストオプション

- ❑ ステアリングハンドル

- ❑ 油圧モータとホース

搭載する場合：アウトリーチオプション付きの IWP-20S

- ❑ ブラケットロック

- ❑ ハンドルとハンドルロック

- ❑ 延長アーム

- ❑ カウンターウェイト構成が適切であることの確認（品番はカウンターウェイト上部に記載されています）

ANSI、CE 屋内	前方品番	後方品番
IWP-20S 標準ベース	37354	37355
IWP-20S ワイドベース	40990	40991
CSA	前方品番	後方品番
IWP-20S ワイドベース	40988	40989

機械全体をとおして下記をチェックします：

- ❑ へこみや損傷
- ❑ 腐食や酸化
- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ バッテリー端子とバッテリーの配線すべてを点検し、きれいにします。
- ❑ 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。

メンテナンス



必ず従うこと：

- ☑ オペレータは、この説明書に記載してある通常のメンテナンス項目のみを行います。
- ☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

注意

本書では、指示の目的をわかりやすくするために以下のシンボルが使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されているシンボルは、次を意味しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

バッテリーのチェック - DC モデル



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

警告

感電の危険。熱くなっている回路やライブ回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計、その他の貴金属を全て外してください。

警告

人体への障害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注意

このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

- 1 保護服と保護メガネを着用してください。
- 2 バッテリー通気孔のキャップをとります。
- 3 バッテリーの酸の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないようにしてください。
- 4 バッテリー通気孔のキャップをつけ直します。

メンテナンス

作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品に損傷を与えることがあります。点検担当者は作動油量を毎日チェックすることにより、作動油量に変化がある場合には油圧システムでの問題を早期に見つけることができます。

- 1 作業台が完全に下がっていることを確認します。
 - 2 油圧タンクの側面の表示計をチェックします。
- ◎ 結果：作動油量が、表示計の中央に見えていません。

作動油の仕様

作動油タイプ	Chevron Rykon Premium MV に相当
--------	---------------------------------

定期保守点検

四半期ごと、1年ごと、2年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機能テスト



操作を行う必須条件：

使用者が操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、全ての機能をテストしてください。

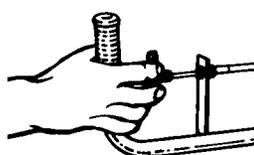
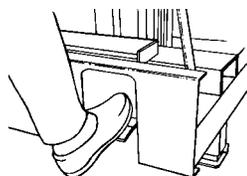
故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

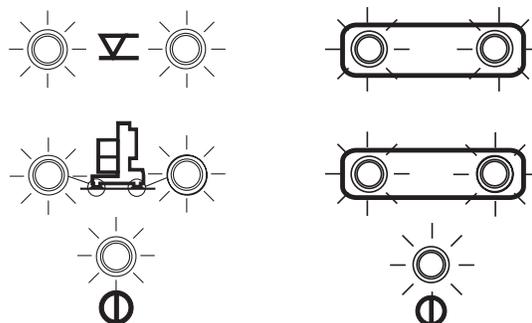
機能テスト

機能テスト

- 1 安定した平らな地面で障害物のないテスト場所を選びます。
- 2 フットペダルを繰り返し踏んで、ベースを上昇させます。
- ◎ 結果：ホイールが地面に接触します。
- 3 ベース下降ハンドルを引いて、ベースを完全に下げます。
- ◎ 結果：4つのフットパッドすべてがしっかりと地面につきます。
- 4 適切な電源に接続します。
- 5 水準器を使って、機械の本体が水平になり、4つのフットパッドすべてがしっかりと地面につくようにジャッキを調節します。
- 6 キーを差し込んで作業台操作の位置に回します。



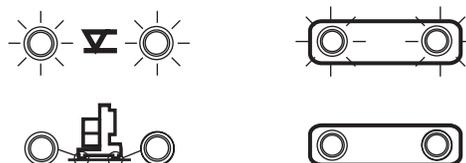
- 7 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
- 8 作業台操作で赤色非常停止ボタンを回して解除します。
- ◎ 結果：電源ランプが点灯します。1～4秒以内に、2つのレベルセンサーインターロックランプと2つのフットパッドインターロックランプが点灯します。



注意：インターロック表示に関する2つのステッカーが追加されました。各ステッカーのシンボルは異なりますが、操作方法は同じです。両方もここまでに記載されています。

インターロックシステムのテスト

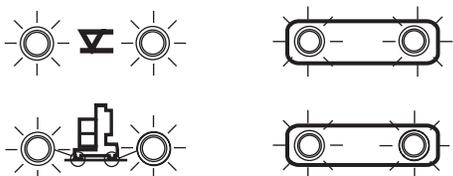
- 9 フットペダルを繰り返し踏んで、ベースを上昇させます。
- ◎ 結果：2つのフットパッドランプが消えます。



機能テスト

10 ベース下降ハンドルを引いて、ベースを下げます。

◎ 結果：2つのフットパッドランプが点灯します。

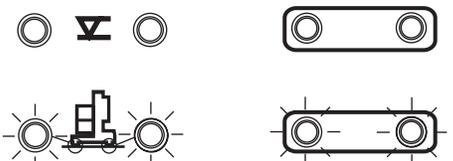


11 フットペダルを繰り返し踏んで、ベースを上昇させます。

12 両方のジャッキを時計回りに回して、完全に下まで下降させます。

13 ベース下降ハンドルを引いて、ベースを下げます。

◎ 結果：ベースが下がり、ベースが水平でないため、2つのレベルセンサーランプが消えます。



14 作業台操作で、制御作動ボタンを押して、上下スイッチを上方向に回した後、下方向に回します。

◎ 結果：作業台の上昇下降機能は作動しません。

非常停止のテスト

15 水準器を使って、機械のベースが水平になるようジャッキを調節します。地上操作で4つのランプがすべて点灯していることを確認します。

16 地上操作で赤色非常停止ボタンを押します。

17 作業台操作で、制御作動ボタンを押して、上下スイッチを各方向に回します。

◎ 結果：作業台の上昇下降機能は作動しません。

18 作業台操作で赤色非常停止ボタンを押し、地上操作で赤色非常停止ボタンを引きます。

19 作業台操作で、制御作動ボタンを押して、上下スイッチを各方向に回します。

◎ 結果：作業台の上昇下降機能は作動しません。

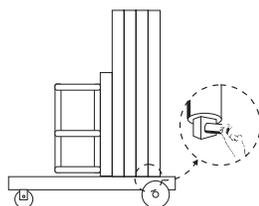
機能テスト

作業台補助下降のテスト

- 20 作業台を少し上昇させます。
- ◎ 結果：内側フレームホイールは地面から少し上がります。
- 21 電源を機械から取り外します。
- 22 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 23 地上操作で補助作業台下降ボタンを押します。
- ◎ 結果：作業台が下降します。
- 24 電源を機械に接続します。
- 25 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。
- 26 作業台を少し上昇させます。
- 27 電源を機械から外します。
- 28 作業台操作で、制御作動ボタンを押して、上下スイッチを下の方に回します。
- ◎ 結果：作業台が下降します。
- 29 電源を機械に接続します。

手動降下のテスト

- 30 作業台操作で赤色非常停止ボタンを回して解除します。インターロックランプと電源ランプが点灯していることを確認します。
- 31 制御作動ボタンを押して、上下スイッチを上の方に回して作業台を約 15 cm 上昇させます。
- 32 油圧シリンダーの底にある手動下降バルブを作動させます。
- ◎ 結果：作業台が下降します。

**作業台の上昇と下降のテスト**

- 33 制御作動ボタンを押して、上下スイッチを上位置まで回します。
- ◎ 結果：作業台はつかえることなく、スムーズに上昇します。
- 34 制御作動ボタンを押して、上下スイッチを下位置まで回します。
- ◎ 結果：作業台が下降します。
- 逆進安全スイッチ (パワーホイールアシストオプション付きモデルのみ)**
- 35 機能作動レバーを引いてどちらかの側に保持します。
- 36 ロッカースイッチを押して、機械を後退させます。
- 37 ステアリングハンドルの端にある逆進安全スイッチを押します。
- ◎ 結果：機械が前進します。

作業場の点検



操作を行う必須条件：

本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 常に操作前の点検を行う。
- 3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

次の危険な状態に注意し、避けてください：

- ・ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ・ 地面の盛り上がりや床の障害物
- ・ 破片
- ・ 傾斜面
- ・ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ・ 頭上の障害物、高圧送電線
- ・ 危険な場所
- ・ 機械の重量に耐えられない地面
- ・ 風や天候の状態
- ・ その他起こる可能性のある危険な状態

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険をさけてください。

操作手順



操作を行う必須条件：

本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 常に操作前の点検を行う。
- 3 使用する前に常に機能テストを行う。
- 4 作業場を点検する。
- 5 **決められた用途にのみ機械を使用する。**

原則

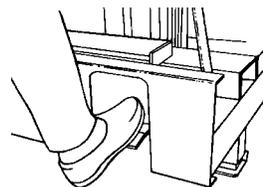
操作手順のセクションでは、機械操作の手順を各機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことはオペレータの任務です。

人や工具を高所作業場まで上げる目的以外で機械を使用することは危険です。

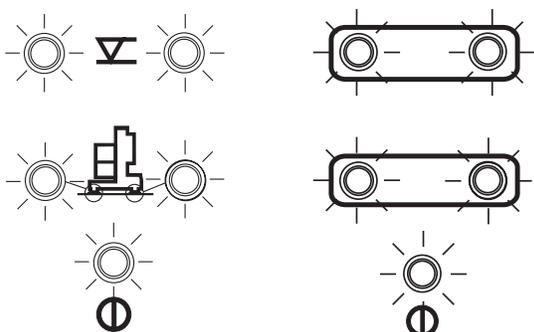
2人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則や操作説明書の指示に従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前の点検、機能テスト、作業場の点検を行う必要があります。

セットアップ

- 1 フットペダルを踏んで、ホイールが地面につくまでベースを上昇させます。
- 2 ステアリングハンドルを使用して、機械を押します。
- 3 作業場の下のしっかりとした平らな地面に機械を置きます。
- 4 ベース下降ハンドルを引いて、4つのすべてのフットパッドが地面にしっかりとつくまでベースを下げます。
- 5 適切な電源に接続します。
DCモデル：バッテリーパックを接続します。
ACモデル：接地されている15AのAC電源装置に接続します。13m以下の12ゲージ/3.3mm²アース付3ピン延長コードを使用してください。
- 6 キーを差し込んで作業台操作の位置に回します。
- 7 地上操作で赤色非常停止ボタンを引いて、電源ランプが点灯していることを確認します。



- 8 2つのレベルセンサーインターロックランプと2つのフットパッドインターロックランプが点灯していることを確認します。



注意：インターロック表示に関する2つのステッカーが追加されました。各ステッカーのシンボルは異なりますが、操作方法は同じです。両方ともここに記載されています。

非常停止

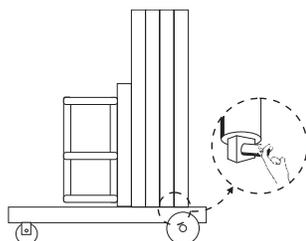
- 1 作業台操作あるいは地上操作で赤色非常停止ボタンを押し、上昇機能を停止します。

作業台の上昇と下降

- 1 作業台操作で赤色非常停止ボタンを回して解除します。
- 2 制御作動ボタンを押して、上下スイッチを任意の走行方向に回します。

手動下降

- 1 油圧シリンダーの底にある手動下降バルブを作動させます。



補助作業台下降

- 1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 2 地上操作で補助作業台下降ボタンを作動します。

落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規約や従業員規約で義務付けられている場合、以下が適用されます：

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、製品使用説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

使用後の注意

- 1 固い平らな地面で、風雨にさらされない、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。
- 2 ベース下降ハンドルを引いて、4つのすべてのフットパッドがしっかりと地面につくまでベースを下げます。
- 3 関係者以外による使用をさけるためキーを取り外してください。
- 4 DC モデル：バッテリーを充電します。

操作手順

アウトリーチオプションの 操作手順

- 1 ブラケットロックを上を持ち上げます。
- 2 ハンドルを時計回りに回して、作業台を延長します。ハンドルを反時計回りに回して、作業台を収縮します。
- 3 ハンドルがロックされていることを確認します。

CE モデル：アウトリーチが延長されている場合、上昇下降機能は動作しません。アウトリーチを収縮して、作業台を元に戻します。

パワーホイールアシスト オプションの作業手順

- 1 ステアリングハンドルを下げます。
- 2 機能作動レバーを引いてどちらかの方向に維持します。
- 3 ロッカースイッチを任意の走行方向に動作させます。
- 4 ロッカースイッチを放します。ロッカースイッチを放しても、機械は移動を続けます。
- 5 機能動作レバーを放して機械を停止し、ブレーキをセットします。

注記：ブレーキは、3°未満の傾斜面上で機械を固定します。

パワーホイールのアシストなしで機械を移動する場合：機能作動レバーを引いてブレーキを解除します。



バッテリーと充電器の操作手順

必ず従うこと：

- 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- Genie 承認のバッテリーと充電器を使用してください。

バッテリーの充電

- 1 バッテリーにアクセスするためバッテリーパックの蓋を開けます。
- 2 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じてプレートがかくれる程度に蒸留水を入れます。充電の前には入れすぎないでください。
- 3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。
- 4 DC 出力コードがバッテリーに正しく接続されていることを確認します。黒をマイナス、赤をプラスに接続します。
- 5 接地されている AC 回路に充電器を接続します。
- 6 バッテリーが完全に充電されると、充電機のスィッチが自動的に切れます。
- 7 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

- 1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。
- 2 それぞれのセルにプレートがかくれるのに十分な程度のバッテリー液 (電解液) を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液が溢れることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

- 3 バッテリー通気孔のキャップをつけます。
- 4 バッテリーを充電します。
- 5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないようにしてください。

輸送およびリフトの手順



必ず従うこと：

- ☑ クレーンやフォークリフトで機械を持ち上げるときは、常識的な判断と手順をもって機械の動きをコントロールしてください。
- ☑ 運搬車は平坦な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せるときは、動かないよう輸送車両を固定してください。
- ☑ 輸送車両の最大積載荷重量、積載機材、積載面が機械の重量を支えることができるか確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。
- ☑ 機械のベースは、積載と輸送のすべての手順を行う間は下げたままにする必要があります。
- ☑ 機械の重量に十分に耐えることができるチェーンまたはストラップを使用して、輸送車に機械を固定してください。

平台トラック上への機械のウィンチ

- 1 作業台を下げます。
- 2 赤色非常停止ボタンを押し、キースイッチを回してオフの位置にしてキーを取り外します。
- 3 緩んでいたり、固定されていない箇所がないか機械全体を点検します。
- 4 ベースの前方にあるウィンチ個所にケーブルを取り付けます。
- 5 慎重に機械をトラック上にウィンチします。
- 6 機械の本体とマストを輸送車両にしっかりと固定します。チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

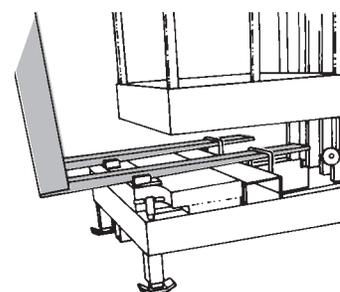
フォークリフトによる機械の積載

機械の側面にあるフォークリフトポケットを使用するか、作業台の下のカウンターウェイトの後ろにあるフォークリフトリングを使用します。

機械に緩んでいたり固定されていない箇所がないか点検します。

フォークリフトリングを使用する場合：

- 1 作業台を 7.5 cm 上げます。
- 2 フォークリフトリンクを上の方に上げます。



輸送およびリフトの手順

クレーンによる機械の積載

後方マスト柱に取り付けられた吊り上げ用アイボルトを使用します。

機械をクレーンで持ち上げる前に、バッテリーパックを取り外してください。

機械に緩んでいたり固定されていない箇所がないか点検します。

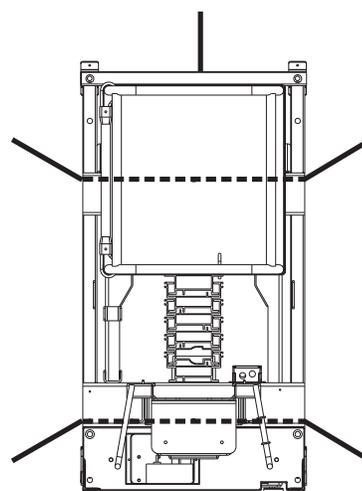
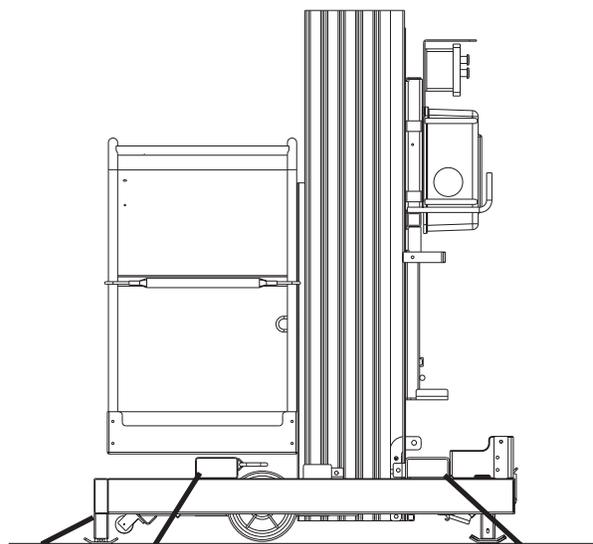
吊り上げ用フックは、常に機械と逆に向くように吊り上げ用アイボルトに通してください。

**機械の固定**

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えるものを使用してください。

最低3組のチェーンを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐためにリギングを調節してください。



ステッカー

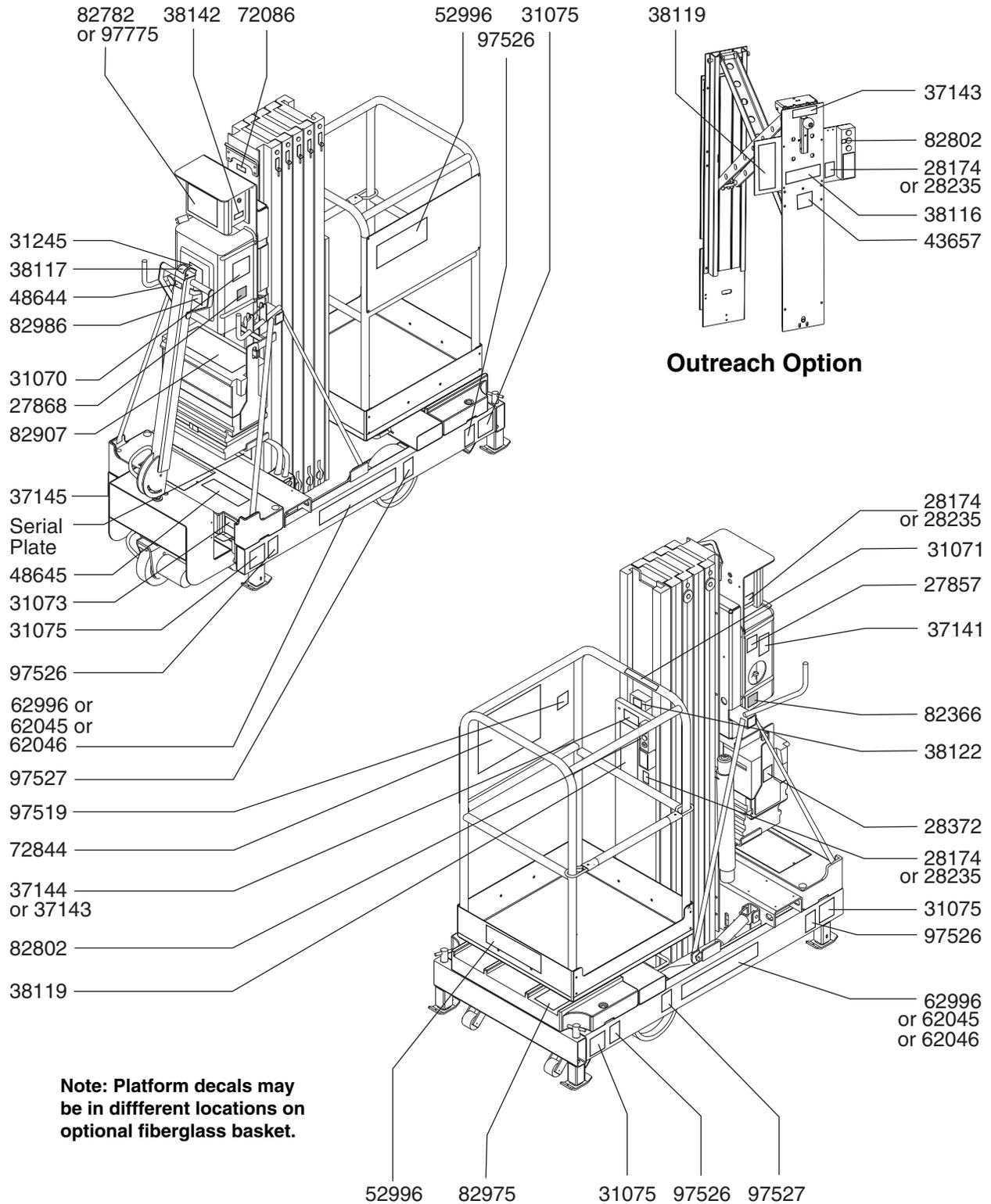
警告用語のついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Description	Quantity
27857	Caution - Pipe Plug	1
27868	Danger - Relief Valve	1
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28372	Caution - Quick Disconnect	1
31070	Danger - Tip-over Hazard, Moving	1
31071	Warning - Failure to Read	1
31073	Label - Foot Pedal	1
31075	Caution - Crushing Hazard	4
31245	Warning - Collision Hazard	1
37141	Notice - Manual Lowering Instructions	1
37143	Notice - Max Capacity, 300 lbs / 136 kg	1
37144	Notice - Max Capacity, 350 lbs / 159 kg	1
37145	Label - Manual Lowering Valve	1
38116	Danger - Outreach Option Safety and Instructions	1
38117	Notice - Power Wheel Assist Option Operating Instructions	1
38119	Notice - Operating Instructions	1
38122	Label - Manual Storage Container	1
38142	Label - Circuit Breaker, AC models	1

Part No.	Description	Quantity
43657	Danger - Tip-over Hazard, Outreach Option	1
48644	Label - Function Enable Lever	1
48645	Danger - Power Wheel Assist Option Safety	1
52996	Cosmetic - Genie Logo	2
62045	Cosmetic - IWP-25S	2
62046	Cosmetic - IWP-30S	2
62996	Cosmetic - IWP-20S	2
72086	Label - Lifting Eye	1
72844	Danger - General Safety	1
82366	Label - Chevron Rykon	1
82782	Label - Interlock Display	1
82802	Label - Control Activate	1
82907	Danger - Battery Charger Safety	1
82975	Caution - Collision Hazard	1
82986	Danger - Electrocutation Hazard	1
97519	Notice - Max Side Force, 45 lbs / 200 N	1
97526	Label - Footpad Load	4
97527	Label - Wheel Load	2
97775	Label - Interlock Display	1

ステッカー



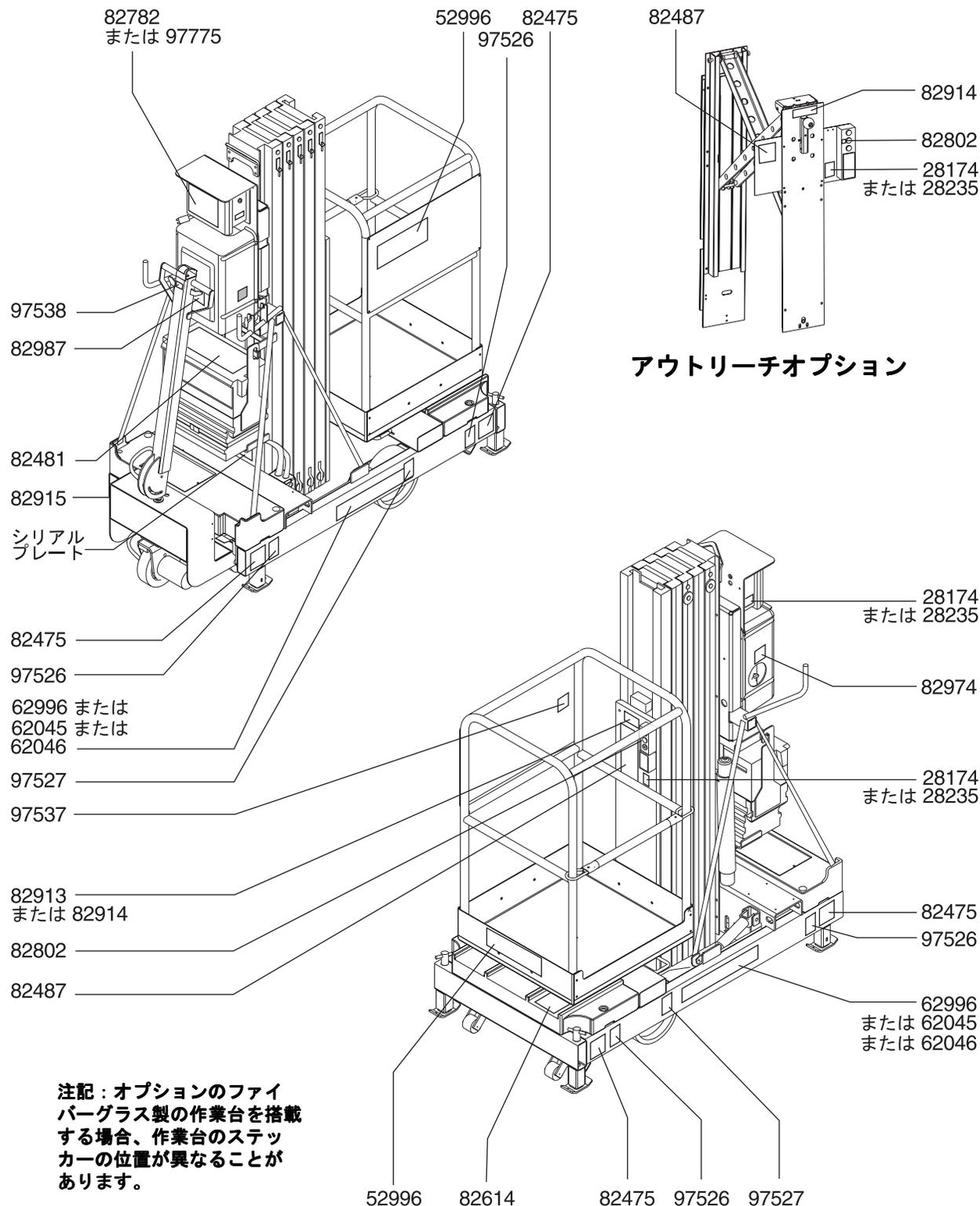
ステッカー

シンボルのついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	名称	数量
28174	ラベル - 作業台への電力、230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力、115V	2
52996	外装 - Genie ロゴ	2
62045	外装 - IWP-25S	2
62046	外装 - IWP-30S	2
62996	外装 - IWP-20S	2
82475	要注意 - 足のケガ	4
82481	危険 - バッテリー充電器の安全	1
82487	ラベル - 説明書を参照	2
82614	危険 - 衝突の危険	1
82782	ラベル - インターロック表示	1
82802	ラベル - 制御作動	1
82913	危険 - 最大積載荷重量、159 kg	1
82914	危険 - 最大積載荷重量、136 kg	1
82915	ラベル - 手動下降バルブ	1
82974	警告 - 衝突の危険	1
82987	危険 - 感電の危険	1
97526	ラベル - フットパッド負荷	4
97527	ラベル - 輪荷重	2
97537	危険 - 最大外圧力、200 N	1
97538	ラベル - 機能作動 パワーホイールアシスト	1
97775	ラベル - インターロック表示	1

ステッカー



仕様

モデル	IWP-20S	IWP-25S	¹ IWP-30S
高さ、操作時最大	8.1 m	9.3 m	10.8 m
高さ、作業台最大	6.2 m	7.4 m	9.0 m
リフト積載荷重量 - ANSI、CE	159 kg	159 kg	159 kg
リフト積載荷重量 - CSA	136 kg	136 kg	136 kg
リフト積載荷重量 アウトリーチオプション付き	136 kg	—	—
電源			
DC モデル	12V	12V	12V
AC モデル	110V または 220V	110V または 220V	110V または 220V
機械の重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。)	シリアルプレートを参照	シリアルプレートを参照	シリアルプレートを参照
高さ、収納時 ベースを完全に下降 / ベースを上昇	1.9 m / 2.0 m	1.9 m / 2.0 m	1.9 m / 2.0 m
幅 - 標準ベース	81 cm	81 cm	—
奥行き - 標準ベース	1.5 m	1.5 m	—
幅 - ワイドベース	1 m	1 m	1 m
奥行き - ワイドベース	1.5 m	1.5 m	1.5 m
オプションのアウトリーチ、延長	66 cm	—	—
角への接近距離 ²	15 cm	15 cm	18 cm

¹ IWP-30S は、ワイドベースでのみです。

² ジャッキハンドルが回転可能な位置での作業台上部
手摺りの角から壁の角までの距離。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針として
います。このため製品の仕様は予告なく変更する
ことがあります。

仕様

周囲操作温度	-29°C ~ 57°C
騒音 標準的な作業場での最大音量（騒音レベル）	80 dB

作業台寸法(奥行き x 幅 x 高さ)

標準作業台 (奥行き x 幅 x 高さ) ゲートまたはスライド付き中間レール	69 cm x 66 cm x 1.1 m
ゲート付き超狭幅作業台	56 cm x 46 cm x 1.1 m
ゲート付き狭幅作業台	66 cm x 51 cm x 1.1 m
標準ファイバー作業台	74 cm x 67 cm x 1.1 m
狭幅ファイバー作業台	66 cm x 56 cm x 1.1 m
前方出入口ゲート付き 狭幅作業台	51 cm x 66 cm x 1.1 m
超大型前方・側方出入口付き 作業台	76 cm x 71 cm x 1.1 m

Genie Scandinavia
Tel. +46 31 3409612
Fax +46 31 3409613

Genie France
Tel. +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica
Tel. +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany
Tel. +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
Tel. +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
Tel. +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241

Genie North America
Tel. 425.881.1800
フリー 米国およびカナダ
ダイヤル 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel. +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China
Tel. +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel. +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan
Tel. +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel. +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil
Tel. +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland
Tel. +31 10 220 7911
Fax +31 10 220 6642

代理店：